



いずみ
Izumi

〈65号〉
医療法人畏敬会
井野辺病院
大分市中尾字平255番地
TEL 097-586-5522
FAX 097-586-5656
2014年12月20日発行



理事長 井野邊 純一

理事長就任のあいさつ 井野邊 純一

院長の井野邊純一です。この度、医療法人畏敬会の理事長に就任致しました。同時に弟の井野辺内クリニック院長の井野邊義人が副理事長に就任致しました。今後、2人でタッグを組み、医療法人畏敬会を運営していくこととなります。前理事長の井野邊義一は会長として私達2人を支えることとなります。あわせ

て、石松俊之先生が井野辺病院副院長に就任致しました。この場を借りてご報告申し上げます。さて、理事長に就任したとはいえ、医療法人畏敬会の理念や運営方針がすぐ変わるわけではありません。私達が現に取り組んでいる「リハビリテーションを根底とした医療」を必要な患者さんに提供

し、さらに進化させていきたいと思います。今回、井野辺病院で考案したリハビリ機器「2筋同時電気刺激装置 DRIVE(ドライヴ)」が医療機器として認可され、市場に販売されることとなりました。この事は私達にとって非常に画期的なことです。私は、「DRIVE(ドライヴ)」を理学療法士や作業療法士のみが使用するのではなく、他の職種―言語聴覚士、看護師や介護職員も原理を理解し、技術を習得した上で使用出来るようにします。そして、いずれば患者さん自身で自宅で使用出来るようにしていきたいと考えています。そのためには、職種間において知識と技術の情報共有が必須です。私達、畏敬会の職員各々が、最新、最善の知識と



臨床のかたわら地域の公民館等で健康教室も行っております(写真は「脳いきいき教室」in 旦の原ハイツ)



大分県知事室にて新聞取材 (左) 井野邊 (中央) 学術課長 加藤 (右) 榊デンケン 石井社長

技術を習得し、各々の職種がチーム・ワークでDRIVEを活用できる環境を作りたいと思います。私達の一連の取組みが必ず患者さんのためになると信じております。また、病気のフェーズ(段階)で、急性期から回復期、維持期、終末期まで、それぞれの段階で必要なリハビリテーションを提供する体制を作っております。勿論、他の医療機関との連携、情報の共有も大変重要です。既にある「城南・賀来認知症ネットワーク」「自動車運転システム CARD(カード)」「井野辺病院医科歯科連携」「賀来校区スマイル健康大学」で行っている他の関連施設との連携構築をどんどん推し進めて参ります。今後共、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

井野辺病院の理念

人々がいきいきと暮らせるように、リハビリテーションを通して地域社会に貢献する。

常に高い目標をもち、人生の質の向上に努める。

「井野辺病院の運営方針」

- <リハビリテーション・ケア体制>
急性期から在宅医療まで、充実したリハビリテーション・ケア体制を提供する。
- <医療体制>
安全で質の高い医療を、インフォームド・コンセントに基づいて提供する。
- <職員の育成>
患者・家族から必要とされる職員になるための教育に努める。
- <健全経営>
職員の満足度向上に努める。

副院長就任のあつらひ

石松 俊之(医師)

新理事長就任にあたり、この度、医師の体制も新体制になりました。



医師 石松 俊之 消化器内科

制も2年に1回大きく変えられています。

このような状況下で、副院長職を拝命することは身の引き締まる思いです。

リハビリ専門病院として専門性のある良質な医療を提供できる病院として地域医療に貢献するために、微力ではありますが努力していく所存です。

みなさまには平素より格別のご高配を賜り御礼申し上げます。この9月から畏敬会井野辺病院副院長を拝命いたしました消化器内科の石松俊之です。

様々な制度や社会背景が変化している中、人々や国が病院に求めることも変わってきています。当院に期待される役割・機能も次第に高度なものになってきていると考えますし、国が決める保険診療体

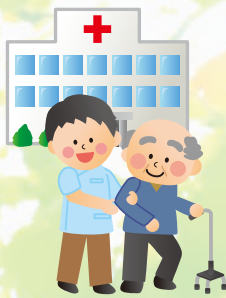
チーム医療の重要性が叫ばれて久しい今日この頃です。リハビリ患者様の治療効果を上げるためには診療部、パラメディカル部、リハビリ部、看護部、事務部、地域医療連携室などの多職種との連携が、非常に重要なことだと考えています。

これまでは医局長として、医局内部の雑用的な仕事を行ってきました。今後は副院長として、院長先生不在時の対応だけではなく、病院全体の仕事の流れを見て、スタッフ

全員が同じ方向を向いていけるように、色々な問題やニーズに対して迅速にそして適切に対応できるように、井野邊院長を中心として、職員全員が一丸となって努力していきたいと考えています。副院長の職務と考えており、病院をまとめていくことに尽力したいと思えます。何卒宜しくお願いいたします。



内視鏡検査中 年に1回内視鏡検査を受けましょう



《消化器内科外来に関するお問合せ》
0077-5889-5522
受付まで

医局長のあつらひ

井上 敏(医師)

この度、石松先生の副院長就任に伴い、医局長を拝命しました。病院の診療、運営がスムーズにいくように調整役として頑張りますので、よろしくお願い致します。

—近況報告—
今年はずちオリンピックに始まり、サッカーのワールドカップ、錦織選手の全米オープン準優勝などスポーツに関する話題が尽きません。

私もスポーツドクターとしての活動を行っていますが、この秋はスポーツ関連の学会や国体などのスポーツ行事への参加など例年以上に活動しました。

その間、患者さんや病院職員



医師 井上 敏 整形外科
スポーツドクターとして長崎国体に参加
マスコットキャラクター“がんばくん”と記念撮影

の方々にご迷惑をかけ、本当に申し訳ありませんでした。ありがとうございました。

特に今年は、テニスのジャパオンオープンのオフィシャルドクターの視察として東京の有明に行ってきました。優勝した錦織選手の生のプレーはもちろんですが、このような国際大会でのドクターとしての対応、必要なことなど、大分のような地方では経験できないことを目の当たりにし、非常に良い経験となりました。

また、今年は長崎にて国体が開催され、大分国体以来の開会式にも参加しました。台風が接近していましたが、奇跡的に開会式の時は雨が上がり、雨天では決して見られないようなオーピングセレモニーを観ることができました。競技初日は雨で中止になる種目もありましたが、2日目からは好天に恵まれ大分県選手団の帯同ドクターとして、空手、銃剣道、卓球、テニス、アーチェリー、フェンシングなどの会場を回りました。

今後もしろいろな活動を通して、皆様のお役に立てるよう頑張っていきます。

《整形外科外来に関するお問合せ》
0077-5889-5522
受付まで

麻痺した筋肉2カ所同時に刺激!!
DRIVEの
製品化について
 研究班副班長 山川 浩二
 (理学療法士)

◆研究開発班について

私達はリハビリテーション部門内の職員で構成されている研究開発班です。現在は5名で活動しています。活動内容は主に大学や企業との共同研究、共同開発を行っています。

リハビリスタッフ 研究開発班



学術課長 加藤 貴志
 研究班副班長 山川 浩二
 研究班班長 大戸 元氣
 研究班 吉田 真志
 研究班 阿南美椰子

◆共同開発のいきさつ

この度、低周波治療器「電気刺激DRIVE」が医療機器の認証を受け、本年度より販売開始となります。ここまでの道のりはとても長いものでした。

2年前、加藤学術担当課長から2つの筋肉を同時に電気刺激できる装置を作れるかとの話があり、製作にかりかかりました。

はじめは試行錯誤の繰り返しで、2つの筋肉にそれぞれ適切な強度の電気刺激を加えられるようにすることが一番難しかったです。

試作第1号が完成し、患者さんの同意を得てその効果を検証しました。するとかなり良い結果が出ました。

しかし、我々の力だけではそれ以上の改良を加えることは難しく、このアイデアを形にしてくれる企業を探していました。

そんな中、昨年2月頃、ひよんなきつかけから株式会社デンケン（由布市挾間町）と話し合いを持つ機会があり、それを機に(株)デンケンとの共同開発がスタートしました。(株)デンケンには医療機器製作の実績があり、その機械を改良した試作機を作

って頂く事ができました。また、大分県の医療機器研究開発補助事業より補助金を受けることができ、大分県立看護科学大学とも共同で機器開発が進みました。

そして月日は流れ…ついに『DRIVE』が完成しました。



低周波治療器「電気刺激DRIVE」

『DRIVE』が完成しました。

◆名前の由来

DRIVEという名前は、Dual (2つの) Respectively (個別に) Intentional (意図的な) Various (様々な) Electric stimulation (電気刺激)

の頭文字からとったものです。2つの筋肉に同時にまた、1つの筋肉へ個別に、意図したタイミングで、様々な使い方が可能な電気刺激装置です。医療機器の認証を受け、医療機器として認められました。現在特許も出願中です。

◆DRIVEの効果

既存の低周波治療器は、1つの筋肉にしか刺激を加えることが出来ませんでした。そして、麻痺が重度の患者さんへの使用は難しかったのですが、DRIVEでは一度に2つの筋肉を刺激することができ、重症の方へも対応することが出来ます。付属のスイッチのオン・オフ操作で容易かつ、意図したタイミングで電気刺激を行えるため、従来機器に

ブログで取材の模様を動画 (YouTube) で見る事が出来ます。是非ご覧ください。
 「DRIVE」取材 畏敬会
 でネット検索!

比べより効果的な治療を行うことができると考えます。

◆発売に際して

2014年10月15日、大分県庁にて広瀬勝貞大分県知事への開発の報告が無事終了し、一同一安心しているところです。

◆今後について

これからも患者さんにとって役立つものを考えていきます。

第9回 井野辺病院 ふれあい祭り

9月14日(日) 第9回井野辺病院ふれあい祭りを開催しました。患者さんや地域の方との交流を深めるために開催しており、すふれあい祭りも、今年で9回目となりました。今回も、400人近くの方にきていただき、イベント会場では、さまざまなアトラクションで、大いに盛り上がりました。また、出店も大人気で炭火地鶏焼きや手羽先は、売り切れになるほどでした。その他バザー、ヨーヨー釣り、無料健康相談、豪華賞品が当たる抽選会も行いました。



DRIVE使用中

井野辺病院って

どんな人があるん!?

今回は、井野辺病院の回復期病棟で活躍する音楽療法士 成瀬真弓をご紹介します！

音楽療法ってなに?!

音楽療法(おんがくりょうほう Music Therapy)は、音楽を聞いたり演奏したりする際の生理的・心理的・社会的な効果を応用して、心と体の健康の回復、向上をはかる事を目的とする専門的な手法です。「療法」とありますが「保険医療」でいう「診療行為」とは区別されます。歌を歌ったり、楽器などを演奏する「能動的音楽療法」と音楽を聴くなど「受動的音楽療法」があります。病院や老人ホームといった施設でも活躍の場を広げています。



音楽療法士 成瀬 真弓

簡単につくれる料理のレシピ研究にハマっています!

いつから勤務されていますか?!

2014年5月に入職しました。回復期病棟の入院患者さんを対象に音楽療法を行っています。

具体的にどんな内容をしていますか?!

病棟の食堂で患者さんの年代に流行った音楽を聴く、歌う等を行っています。

高齢の患者さんが多いので若いときに流行った流行歌等に触れると当時の記憶を呼び戻されます。「回想法」という手法のひとつになります。認知症の方などに効果的です。また「音を楽しむ」ことを目的に、とかくベッドに寝たままになりやすい入院生活で、「離床(ベッドから離れて過ごすこと) 時間」を増やすことにもつながっています。発声することもありハビリテーションの一環になっていると思います。また、たくさん楽器を用意しております。「叩く」、「振る」等で簡単に音がでますので楽しみながら参加していただいております。

音楽療法士という資格はどういったらとれますか?!

日本音楽療法学会の認定試験を受けることが必要です。また5年に1回資格更新が必要ですよ。

得意な楽器は?!

ピアノです。
※広島にあるエリザベト音楽大学ピアノ専攻科卒業です。

今後の抱負について

言語聴覚士さん達等他の専門職とコラボレーションを考えていきたいと思っています!



音楽療法の最中。看護師さんもお手伝い



沢山の楽器を用意しています!!

みつはしさんのちょっと一品



栄養士 三橋 由美子

今回は大分県産ぶりの「中落ち」を使った、おろしぶりハンバーグとリンゴを使ったタルトタタアンケーキをご紹介します。

おろしぶりハンバーグ

材料 (6個分)

- A ぶり中落ち240g・木綿豆腐1/2丁・玉葱180g (1/2個)・生姜ひとかけ・小ネギ2本・卵1/2個・酒小さじ2杯・醤油大さじ1杯・塩小さじ1/2杯・でんぶ(片栗粉)大さじ1杯
- オリブ油大さじ1杯(焼き油)
- B 大根200g・大葉3枚・カボス3個
- しめじ1袋・いんげん12本・人参1/2本

作り方

- 豆腐にペーパータオルを敷き、レンジで1分加熱し豆腐の水分を切っておく。
- 玉葱・生姜・小ねぎはみじん切りにする。
- Aの材料を合わせてしっかりと混ぜる。
- 俵型に6個分作る。
- フライパンにオリブ油を入れ中火で熱し④を入れて3~4分焼き、裏返してさらに3~4分焼く(こんがりとした焼き色が両面につくように焼き上げる)。
- 大根はおろして、水分を切る。大葉は半分は切る。人参はもみじ型に切る。カボスはくし型に切る。
- しめじ・いんげん・人参(もみじ型)は茹で野菜にする。(塩ゆで)

盛り付け

ぶりハンバーグの上は大葉・大根おろし・もみじ型の人参を飾る。しめじ・いんげん・かぼす・盛り付ける。



タルトタタシ風ケーキ

リンゴの簡単ケーキ

材料

- リンゴ4個・グラニュー糖90g・バター40g
- カボス絞り汁2個分
- A (ホットケーキミックス200g・卵1個・牛乳150cc)

作り方

- りんごは皮をむいて縦6等分に切る。平たい鍋かフライパンにりんごを入れて、グラニュー糖を全体にふりかけ、ちぎったバター・絞ったカボスを加えて中火で煮込む。
- ①のりんごに火が通ってきたらうら返し、水分がなくなるとカラメル色になるまで20分~30分煮る。
- ケーキ型にバターを薄くぬり②のりんごをすき間が出来ないように敷き詰め、混ぜ合わせたAをりんごのよこから流し入れて、200度のオーブンで20分~30分焼く、あら熱がとれたら形からはずして裏返す。



※ぶりの中落ちは大分県産(佐伯市米水津で加工)のもの、少々冷めても臭みがなく、あっさりとして、食べやすく、肉の嫌いな方・刻み食の方などに使用できる材料なので、今後病院給食献立に取り入れたいと思います。



編集後記

今回より、いずみをりしことく楽しんと思担当しました。明くる情報載せていきます。宜しくお願い致します。地域医療連携室 いずみ担当

